

平成 31 年度 おとぎ認定こども園 事業報告

<総括>

神戸市からの民間移管を受けてから 10 年目を迎え、地域におけるより身近で、開かれた施設として着実に根付いてきました。幼保連携型認定こども園に移行して 5 年目となり、保護者の就業の有無にかかわらず、同じ教育・保育を提供してきました。在園途中で、保護者が仕事を辞めても、慣れ親しんだ園に通い続けられることで喜ばれています。地域や社会環境のニーズをキャッチし、その対策や対応の中で保育サービスの充実を図りました。就学準備としての教育や園児の健康維持を図る行事を通して基本的な生活習慣の確立を図るとともに、人間としての生き方を体で覚えさせる取り組みの充実を図りました。園近隣への散歩や山登りなど、自然の中での様々な体験や経験を行うことで、五感を通じた自然体験を得ることができ、自然の中での遊びなどの楽しさを覚えた子どもがたくさんできたことは大きな実績でした。また、園の活動を地域の方々によく理解していただくと共に、日本の伝統行事や文化行事では、老人会や未就園児を招いて、地域の中に溶け込んでいく園をめざし、広報、宣伝活動にも力を入れ、以下の事業内容を実施しました。

<内容>

	重点実施項目	実行内容	結果
地域貢献の視点より	1、子育て家庭への保育園機能の開放 2、子育て等に関する相談や援助の実施 3、子育て家庭の交流の場の提供及び交流の促進 4、地域の子育て支援に関する情報の提供 5、老人とのふれあいを通じて地域文化の伝承と老人の孤立化の防止 6、園行事の地域への開放により地域の活性化と子育て、子育ての支援をはかる	1、①園庭開放の実施 ②体験保育の実施 ③一時保育の実施 2、子育て相談の実施 3、①園庭開放の実施 ②体験保育の実施 4、乙木地域子育て茶ミットへの参加 5、老人会(ふれあいの町づくり)との交流行事の実施 6、七夕会、プール開き、地蔵盆会、運動会、もちつき、七草粥、豆まき等の行事を実施	1、①毎週 2 回開催した ②年間 1 回開催した(7/5) ③4 月より実施した 2、96 回(園庭開放時) 3、①毎週 2 回(火・木)開催した ②年間 1 回開催した(7/5) 8 組の親子参加 4、年間 4 回参加し、情報を提供した 5、カレーパーティー・焼き芋パーティー・おもちつきを実施した 6、ポスターを掲示して、参加者を募集し、全て実施した 神戸新聞(1 回)に本園の記事が掲載された(七草粥)
利用者の視点より	1、教育・保育内容 (1) 教育・保育要領に基づく教育・保育の計画と評価の実施 (2) 小学校へつなげる保育・就学準備としての教育 (3) 障がい児(すこやか)保育の実施	(1) 教育・保育要領に基づく保育の実施、保育要録の作成 (2) 年長児のワークの実施 (3) 障がい児の積極的な受け入れと早期発見・早期対	(1) 教育・保育要領を作成して実施。5 歳児 30 名の子どもを育ちを支えるための資料(要録)を就学する各小学校へ送付した (2) 1 月より実施(33 回)ひらがなのワークを導入し、午後活動に取り入れた (3) 7 名を受け入れた 5 歳児：りんご組 2 名

	重点実施項目	実行内容	結果
利用者 の 視 点 よ り		応	4歳児：みかん組 2名 3歳児：ばなな組 3名 その他、配慮を要する子 や気になる子の記録をと り、保育計画・実践に生か した
	(4) 伝統行事や文化行事を実施する 中で、人間としての基本的な型と 生きる力を体で覚える「心と体の 教育」の実施	(4) 七夕会、お泊り保育、地藏 盆会、運動会、人形劇観 劇、老人とのふれあい交 流(カレーパーティー、焼 き芋パーティー、おもち つき)、成道会坐禅会、七 草粥、豆まき、生活発表 会、涅槃会坐禅会、野菜や 花の栽培	(4) 全て実施した(14回) お泊り保育・運動会では、 体力づくりの増進と目的 を持って取り組み、やり 遂げる強い意思を培った 七草粥・豆まきなど、日本 古来からの伝統文化を体 験し、その風習や習わし を知ることができた
	(5) 保護者への保育内容告知	(5) 入園のしおり、園だより、 クラスだよりの作成・配 布、よい子ネットによる 情報提示	(5) 入園のしおりについては 新入園児 28名(26世帯)に 配布した 園だより・クラスだより は年間 12 回発刊(毎月 1 回発刊)した
	(6) 保育教諭の加配	(6) 4月当初で 4人加配	(6) 4月当初で 4人つけた
	(7) 虐待児童の早期発見・早期対応	(7) 毎日の視診、長期欠席児の 理由確認、垂水区・保健セ ンター等、専門機関との 連携	(7) 毎日の視診・触診を通して 確認。長期欠席児には、電 話連絡にて、保護者に病 状を確認した 虐待と判断できる児童は いなかった
	(8) 自然の中での様々な体験をする行 事	(8) お泊り保育、園外保育、さ つま芋掘り、たまねぎ抜 き、たまねぎ植え付け、野 菜の栽培	(8) お泊り保育にて淡路島で 自然を満喫して過ごした
	(9) 園舎内外の環境整備	(9) ①大型改修工事の実施 ②園舎内外の環境の整備 故障等の修理、	(9) ①幼児保育室・遊戯室・職 員室・会議室・更衣室・給 湯室・内階段の改修、テラ ス側窓ガラス・サッシ新 調、遊戯室の飾り棚新築 ②幼児クラス個人ロッカ ー・4,5歳児室収納棚・ 固定遊具落下防止人工芝 冷蔵庫(給湯室)・洗濯機・

重点実施項目	実行内容	結果
利用者 の 視 点 よ り 2、健康及び安全 (1) 食育の促進 (2) 子ども健康状態、発育・発達状態の把握と健康増進をはかる (3) 環境整美と衛生管理の徹底 (4) 安全指導と不測の事態への対応 3、保護者支援 (1) 園と家庭の相互連絡の充実	(1) ①自園給食・手作りおやつの実施 ②食物アレルギー児への対応 ③野菜栽培の実施 ピーマン・きゅうり・なすび・トマト・大根・蕪・オクラ・枝豆・玉葱・さつまいも栽培 (2) 発育測定、内科健診、耳鼻科検診、眼科検診、歯科検診、尿検査 散策(0～5歳児)、マラソン(12～3月)等 (3) ①整理・整頓・清掃と手洗い、消毒の徹底 (4) ①遊具の点検の実施 ②避難訓練(火災・地震・不審者・自然災害等)実施 ③正門の自動扉と北側門扉のカギかけの実施 (1) ①連絡帳・連絡票の利用、園だより、クラスだより、よい子ネットによる情報提示	パソコン(職員室)・エアコン(更衣室)・カーテン(遊戯室)の新調・防犯カメラの増設 (1) ①年間 290 日(給食)年間 239 日(手作りおやつ) ②除去食提供(9名) ③園庭でのプランターと園の菜園で野菜作りを体験した (3～5歳児対象) (2) 全て実施した 発育測定(12回) 内科健診(2回) 耳鼻科検診(1回) 歯科検診(2回) 眼科検診(1回) (3) ①消毒に電解水を使用 各保育室・トイレ・給食室等、園舎内の消毒に使用 延長パート職員による保育室・トイレの最終消毒を実施した (4) ①毎日実施し、記録を保管 ②毎月実施した(但し、月により内容は異なる) 年間 24 回 ③毎日実施した (1) ①全て実施した 連絡帳・連絡票(毎日) 園だより・クラスだより(月1回：各 12 回) よい子ネット (91回)

	重点実施項目	実行内容	結果
利用者の視点より		②子ども送迎時の対応	②随時、口頭・電話等で実施した
		③苦情相談の受付等	③口頭で回答、ホームページで報告した(6回)
	(2) 低年齢児保育の積極的な実施	(2) 0・1歳児の積極的な受け入れ実施	(2) 委託依頼は全て受け入れた 0歳児：9名 1歳児：18名
	(3) 働く両親の就労援助	(3) 一時保育・延長保育の実施	(3) 一時保育利用児：延べ 0人 延長保育利用児：延べ 3,650人
	(4) 安全で安心な遊び場の提供	(4) ①園庭遊具の管理 ②園庭開放実施 ③防犯カメラの増設	(4) ①管理員及び保育教諭とで、園庭整備を行った。毎日、遊具の点検を行った。 ②毎週火・木曜日に実施した。年間96回 ③職員室に一台増設し、園内外10ヵ所にカメラ設置をした。不審者の侵入対策及び早期発見や園児の遊びの安全を確認した
	(5) 教育・保育サービスの全体的な質の向上をはかる	(5) 保育教諭、職員の研修の実施	(5) 園内外の研修に、可能な限り参加した 延べ人数：120人 ・接遇研修(2/22,3/7)を実施した
	(6) 駐車スペースの確保	(6) 送迎時の駐車スペースを確保する	(6) 登降園の渋滞時間には、職員が交通整理を行った
	4、苦情解決・財務諸表の公開		
	(1) 苦情への適切な対応を図り、利用者の満足感を高める	(1) 投書箱の設置、連絡帳、口頭、電話等による苦情の受付「要望・意見・苦情・相談」発生・解決報告書への記入	(1) 実施した 電話5件 連絡帳1件 計6件
	(2) 利用者個人の権利を擁護し、利用者がサービスを適切に利用することができるようにする	(2) 苦情解決責任者、苦情受付担当者、第三者委員等の担当者の設置。システム図示、公表(玄関)	(2) 実施した
(3) 苦情を密室化せず、社会性や客	(3) 年度末に1年間に発生し	(3) 実施した	

	重点実施項目	実行内容	結果
利用者の視点より	観性を確保し、信頼と適正性を高める (4) 財務諸表の公開をする 5、保幼小連携 (1) 教職員の交流、情報交換をはかる	た苦情件数等を園だより・ホームページ・掲示板を通じて公表。 (4) 職員室に置き、希望者についても公開できるようにする (1) ①新1年生の就学引き継ぎ(連絡会)を実施 ②近隣の小学校との話し合い ③垂水区内小学校校長・幼稚園園長・保育園園長との話し合い ④近隣の小学校・保育所・幼稚園との交流	「要望・意見・苦情・相談」発生・解決報告書への記入(6件) (4) 実施したが、公開希望者はいなかった (1) ①2/27に乙木小から2名、2/21に塩屋小学校から1名、下畑台小学校から2名が来園し、24名の引き継ぎを実施、保育要録を手渡した 他校への就学6名は電話で引継ぎをし、保育要録を郵送した ②5歳児担任が近隣の小学校教諭との話し合いに参加(11/21) ③垂水区内小学校校長・幼稚園園長・こども園園長との話し合いをした(7/16) ④小学校の入学式・運動会・音楽会・保育所との5歳児交流に参加し、交流を図った(7回) 茶ミット会議(4回)に参加し、情報交換をした
	財務諸表の視点より	1、経費の節約 2、財務諸表による経営状態の確認 3、園庭環境の充実 4、保育用品・事務用品・事務機器、備品等の充実	1、コピー、上水道、電気代等の節約 2、専門家の指導を受け、財務分析を受ける 3、砂場の砂、園庭の真砂土の補充 園庭の樹木と下草の植え込みの手入れ、季節ごとの草花の栽培 4、備品等の購入

	重点実施項目	実行内容	結果
業務プロセスの視点より	1、業務改善取り組みの構築	1、各部、各係ごとのPDCAの作成・実行・報告	パソコン(3台)・避難車 坐禅用ごさ・午睡用ごさ 給食用トレー・カーテン(遊戯室)・収納棚(4.5歳児) 1、各部ごとのPDCAの作成 ・結果報告・来年度に向けての対策を各分掌でまとめた 1月に実施結果報告を各係から報告させ、2月に分掌部長が総合して結果報告書を提出し、3月に新分掌部長への引き継ぎを行った 法人本部にも、報告書と計画書を提出した
	2、危機管理マニュアルの見直しと作成	2、事故防止、事故発生時の対応マニュアル、投薬マニュアル、不審者対策、感染症・食中毒マニュアル、自然災害対応マニュアルの見直しと点検	2、実施した
	3、各部の計画と実施	3、食育計画、学校保健計画、学校安全計画の作成と実施	3、実施した
人材育成の視点より	1、人材の確保をはかる	1、①地域だけでなく、関西一円から募集する ②人事考課の作成と実施	1、①直接契約7名(内1名・R2年2月入職・内6名・R2年4月入職) 就職フェアより1名(R2年2月入職) ハローワークより1名(R元年10月入職) ②作成し、実施した(3回)
	2、新人・新採用職員の育成をはかる	2、①3月に新任研修を行う ②スーパーバイザーとして主幹保育教諭をつける ③他園との合同研修を行う	2、①新任者(6名)が前職勤務のため、実施せず ②スーパーバイザーとして、主幹保育教諭が指導を行った ③法人合同新人研修として西神吉認定こども園にて行った(2/22)

	重点実施項目	実行内容	結果
人材育成の視点より	3、職員の研修計画の作成と資質の向上をはかる 4、接遇・マナーの向上 5、職務内容に応じた給与システムの検討をする	3、園内外の研修を本務に支障のない限り受けさせた 4、専門家の指導を受け、研修する 5、職能等級規程による人事考課の実施	3、実施した 延べ人数：120人 4、法人合同の接遇研修を西神吉認定こども園で行った(3/7) 5、実施した(3回)